



2011年9月7日
東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社
いわてデスティネーションキャンペーン推進協議会

いわてデスティネーションキャンペーンイベント！

SL「C61 20号機」が東北本線に復活！ 岩手に元気を。「SLがんばろう岩手号」の運転について

JR東日本盛岡支社では、2012年4月から6月まで実施される「いわてデスティネーションキャンペーン」のイベントとして、震災からの復興に向けて頑張る岩手県に元気を送るとともに、平泉の世界遺産登録を記念し、SL「C61 20号機」と旧型客車で「SLがんばろう岩手号」を運転いたします。

38年ぶりに復活したSL「C61 20号機」にどうぞご期待下さい。

1 運転日

2011年11月19日(土)・20日(日)

2 運転区間

一ノ関駅～北上駅 1日1往復

3 列車愛称名、運転時刻及び停車駅

往路:「SLがんばろう岩手号」

(運転区間)一ノ関 10:30 発～北上 12:11 着

(停車駅) 一ノ関, 平泉, 前沢, 水沢, 北上

復路:「DLがんばろう岩手号」

(運転区間)北上 14:23 発～一ノ関 16:10 着

(停車駅) 北上, 水沢, 前沢, 平泉, 一ノ関

※ 復路については、運転の都合上、ディーゼル機関車(DL)による牽引となります。

※ 「C61」、「C61 20号機」の概要については、別紙をご参照ください。



C61 20号機 イメージ

4 試乗会の開催

11月17日(木)に、岩手県内の被災地にお住まいの方々や「いわてデスティネーションキャンペーン」の関係者などをお招きした試乗会を開催する予定です。

5 その他

指定席券は、乗車日の1ヶ月前の10時からJRの主な駅のみどりの窓口・びゅうプラザ等にて発売いたします。SLにご乗車いただける旅行商品も発売予定です。また、一ノ関駅、北上駅での出発式や沿線でのおもてなしイベントを計画しております。

詳しくは別途お知らせします。

※ 本件プレスリリースにつきましては、JR盛岡記者クラブ、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブにお届けしております。

I 「C61」について

C61形蒸気機関車は、戦後の旅客輸送需要の急増に対応するために、余剰のD51形のボイラや部品を活用し、C57形の足回りをベースに製造された旅客用機関車です。

1947年（昭和22年）から1949年（昭和24年）にかけて33両が製造されました。

※ 参考 JR東日本で保有している各SLの比較

形式	C61	D51	C57
全長	20.4 m	19.8 m	20.3 m
機関車重量	79.5 t	78.4 t	68.0 t
全高	3.98 m	3.98 m	3.94 m
動輪直径	1.75 m	1.40 m	1.75 m
車軸配列	2C2 (ハドソン)	1D1 (ミカド)	2C1 (パンフィック)
製造両数	33 両	1,115 両	215 両
現役時代の運用区間	東北本線・常磐線・奥羽本線・鹿兒島本線・日豊本線など	全国の幹線	四国を除く全線

D51 498（1988年～）



C57 180（1999年～）



II 「C61 20号機」について

長さ 20.375 m 幅 2.936 m

高さ 3.98 m 動輪直径 1.75 m

機関車重量 78.8 t 炭水車重量 42.0 t

石炭搭載量 6.2 t 水タンク容量 15.4 m³

最高速度 75 km/h

※ C61 20 車両履歴

1949年 7月 三菱重工改造
 1949年 8月 青森機関区
 1950年 1月 仙台機関区
 1966年12月 青森機関区
 1971年 9月 宮崎機関区
 1973年 8月 廃車
 1974年 1月 伊勢崎市 華蔵寺公園展示
 2010年 1月 復元工事開始
 2011年 3月 車籍復活

C61 20（2011年～）

